

JAMの主張

60歳以降の働く場、早急にツメを

第14回定期大会あいさつ JAM会長 眞中行雄

機関紙JAM 2012年8月25日発行 第162号

いくつかの主要な活動にふれ、あいさつに代える。

春闘

2012春闘は、8割近くの単組が要求し、7割超が妥結。昨年並みの結果を残した。

60歳以降の働く場と、労働条件の改善という取り組みでは、高齢者雇用安定法の改正案が成立したので、単組においては大至急2013年問題に対するツメと対象となる組合員への周知期間の確保をお願いします。

JAMは賃金復元に取り組んできたが、どこまでできたのか検証も必要だ。また、賃金を下げないためには賃金制度の整備も必要で、今後も制度化に向け協力をお願いします。

最低賃金協定では、協定「あり」が6割を超えているが、「協定可能」という単組が3割あるので、未組織を含めた水準引き上げに向けて最低賃金の協定化を是非お願いします。

組織拡大と財政基盤の安定化

百人未満の中小企業には1%位しか労働組合がなく、賃金や一時金、労働時間や安全など労働条件に働く側からの意見が反映されているとは言い難く、経営者による一方的な形で決められている。したがって適正な労使関係を築くため労働組合を作る＝組織化が必要だ。金属産業に働く仲間を組織化し、JAM全体の組織強化へ一層の奮闘をお願いします。

JAMは財政的に非常に厳しく、昨年各単組に納入率の改善をお願いし、全体で87%となった。厳しい単組の財政事情ではあるが、引き続きご協力をお願いします。

熟練技能継承活動

熟練技能継承事業が2年目に入り、技能検定の合格率も確実に改善。生徒・先生など学校関係者や業界のマスコミからも高い評価をえている。この事業は「3年はやり抜く」としてスタートしているので成果の確認と同時に、今後の方向性についても議論を始めたい。

政策制度実現の取り組み — 辻、とどろき選挙 —

国会は最終的に「数」で決まる現実がある。つまり、我われの政策や制度要求を実現するためには、我われと考えを一つにする我われの代表を国会に送り込まなければならない。13年7月には参議院選挙が行われる。「辻」参議院議員の必勝と、ものづくり産業の仲間である「とどろき利治」参議院議員の再選で、津田やたろう議員と組み、われわれの政策実現の最前線として活躍して頂くことにしている。そのため、この定期大会以後、政策実現本部を設置し、地方・単組の皆さんにも理解と協力をお願いします。